

2024 年度 長岡大学 卒業生アンケート

長岡大学 大学評価室

2024 年 9 月上旬から 9 月 30 日にかけて、2014 年度から 2020 年度に入学した学生 844 名¹のうち、2024 年 3 月時点で卒業した 724 名²を対象に、本学貸与 Gmail を利用し「2024 年度 長岡大学 卒業生アンケート」の回答を複数回依頼した。

また、9 月 16 日、17 日に開催された悠久祭（学園祭）において、来学した卒業生に対し回答を依頼した。そのため、上記の 724 名の対象卒業生以外にも回答者が含まれている。

回答数は 50 件。（回答率：6.5%）（昨年度も回答した卒業生：18 名、3 年連続回答の卒業生：6 名）

〔注〕回答率は、2014 年度から 2020 年度入学生の回答者数 47 名を 724 名で除して求めている。

「2024 年度 長岡大学 卒業生アンケート」の設問および選択肢は以下の通り。

問 01. 卒業時の就職先の業種についてお答えください。

い。進学等の場合は、「19. その他」を選択してください。

01. 農業・林業
02. 漁業
03. 鉱業、採石業、砂利採取業
04. 建設業
05. 製造業
06. 電気・ガス・熱供給・水道業
07. 情報通信業
08. 運輸業、郵便業
09. 卸売業、小売業
10. 不動産業、物品賃貸業
11. 学術研究、専門・技術サービス業
12. 宿泊業、飲食サービス業
13. 生活関連サービス業、娯楽業
14. 教育、学習支援業
15. 医療、福祉
16. 複合サービス事業
17. サービス業（他に分類されないもの）
18. 公務（他に分類されるものを除く）
19. その他（進学等 就職以外を含む）

問 02. 現在の就業形態をお答えください。

- 経営者（役員含む）
正規社員・職員（管理職）
正規社員・職員（役職なし）
非正規社員・職員
個人事業主（自営業）
その他（無職など）

問 03. 出身地の都道府県をお答えください。

問 04. 現在居住している都道府県をお答えください。

- | | |
|------|----------------------------|
| 北海道 | } 47 都道府県 + 日本国外
48 選択肢 |
| 青森県 | |
| ： | |
| 沖縄県 | |
| 日本国外 | |

問 05. 卒業時点における進路の満足度は、

以下の選択肢のどれに当てはまりますか。

- とても満足している
まあまあ満足している
あまり満足していない
まったく満足していない

問 06. 現在の仕事に対する満足度は、

以下の選択肢のどれに当てはまりますか。

- とても満足している
まあまあ満足している
あまり満足していない
まったく満足していない

問 07. 現在の就労状況についてお答えください。

- 【勤務を継続中】今後も継続予定
【勤務を継続中】転職を検討している
【転職した】別の会社で勤務中
【退職した】求職中・無職

¹ 編入学生は、学籍番号の年度に入学したものとする。

² 2024 年 9 月卒業生は含まない。

問 08. 転職・退職した方に伺います。
転職・退職した主な理由は何ですか。
(選択肢で最も当てはまるものを 1 つ選択)

仕事内容
人間関係
給与・報酬
休日・残業
倒産・解雇
その他

問 09. あなたの在学中の GPA (総合的な成績)
について、お答えください。
【上位】3.00 以上
【上中位】2.50 以上 3.00 未満
【中下位】1.80 以上 2.50 未満
【下位】1.80 未満
覚えていない

問 10. あなたの在学中の授業への出席状況につ
いて、お答えください。
ほとんど出席していた
(欠席：0～2 回程度／15 週)
出席不足にならない程度に出席していた
(欠席：3～5 回程度／15 週)
出席不足となる科目もあった

問 11. 在学中の部活・サークル、ボランティア
活動状況について、お答えください。
積極的にしていた
たまにしていた
していなかった

問 12. 在学中のアルバイト経験について、お答
えください。
積極的にしていた
たまにしていた
していなかった

問 13. 在学中に身に付けた学力や資質・能力は
卒業後の進路で活かされていますか。
お答えください。
とても活かされている
まあまあ活かされている
あまり活かされていない
まったく活かされていない

問 14. 社会（職場）で必要とされている能力・
態度等はどのようなものだと思いますか。
(選択肢の中から最大 3 つまで)

一般的な教養
専門的知識
語学力
論理的文章力
I T 活用能力
思考力
関係調整能力
企画力・提案力
統率力・責任力
向上心・前向きさ
持続力・継続力
主体性
その他...

問 15. 自分で修得していると感じる能力・態度
等はどのようなものですか。以下の選択
肢の中から選んでください。(複数回答可)
一般的な教養
：
主体性
修得している能力はない

問 16. 自分が不足していると感じる能力・態度
等はどのようなものですか。以下の選択
肢の中から選んでください。(複数回答可)
一般的な教養
：
主体性
不足している能力はない

問 17. 卒業後の進路を踏まえて、本学教育で特
に力を注ぐとよいと考える教育分野は何
ですか。(選択肢の中から最大 2 つまで選択)
自律的にキャリアをデザインする
「キャリア教育」
問題把握・解決能力
一般的な教養
語学、文章構成能力
I T 活用能力
専門教育
その他...

問 18. 在学中に就職に向けて特に必要だと思う
取り組みは何ですか。

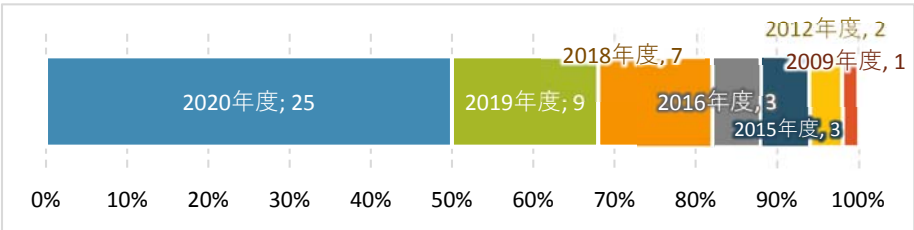
(選択肢の中から最大2つまで選択)

- 学業成績の向上
- 自己分析
- 業界・企業研究
- 職業に関連する学修
- 資格取得
- その他...

問 19. 卒業後の進路を踏まえて、本学の教育に
ついてご意見がありましたら記入してく
ださい。(自由記述)

回答結果・集計結果

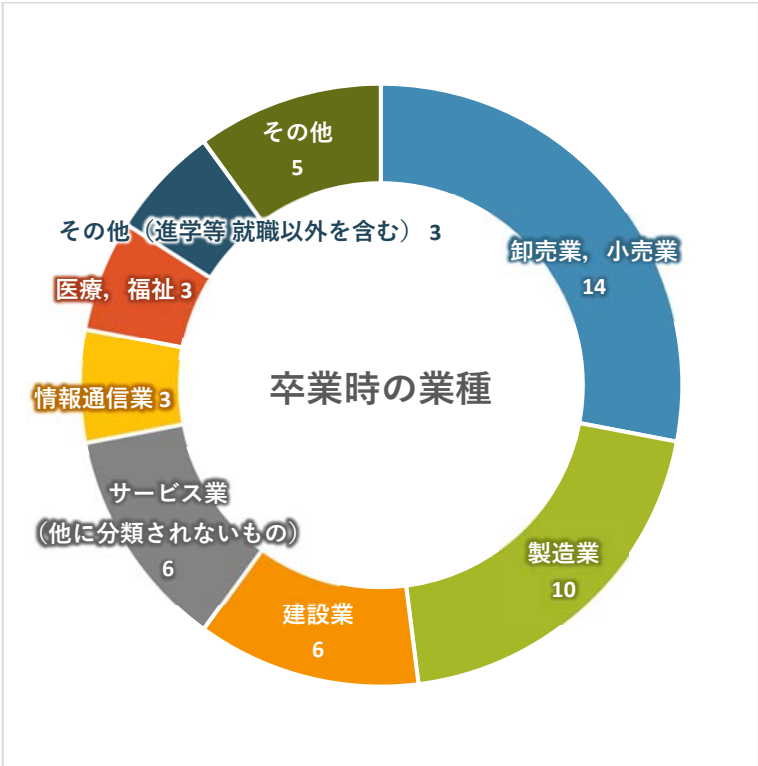
問 00. 回答者属性



卒業直後の 2020 年度入学生が全回答者の 50%を占めているが、昨年度も卒業直後の 2019 年度入学生が回答者の 52.6%を占めていた。

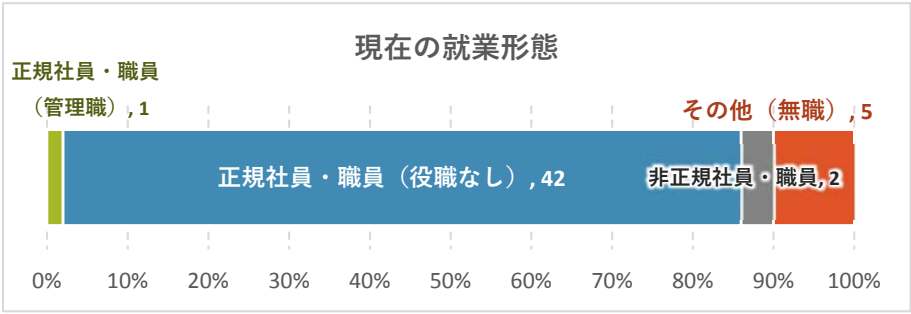
問 01. 卒業時の就職先の業種

2 名以下の業種は「その他」に集約。



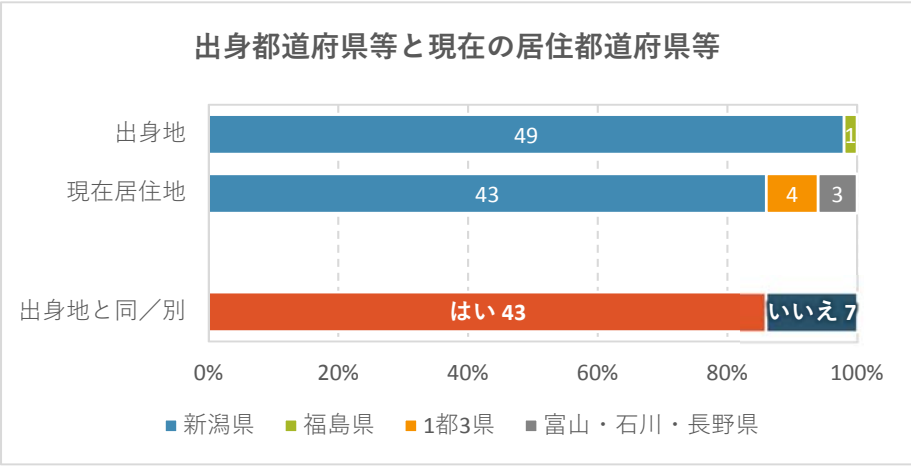
[注] 「その他」は、電気・ガス・熱供給・水道業／運輸業、郵便業／学術研究、専門・技術サービス業／生活関連サービス業、娯楽業／公務 (他に分類されるものを除く)

問 02. 現在の就業形態

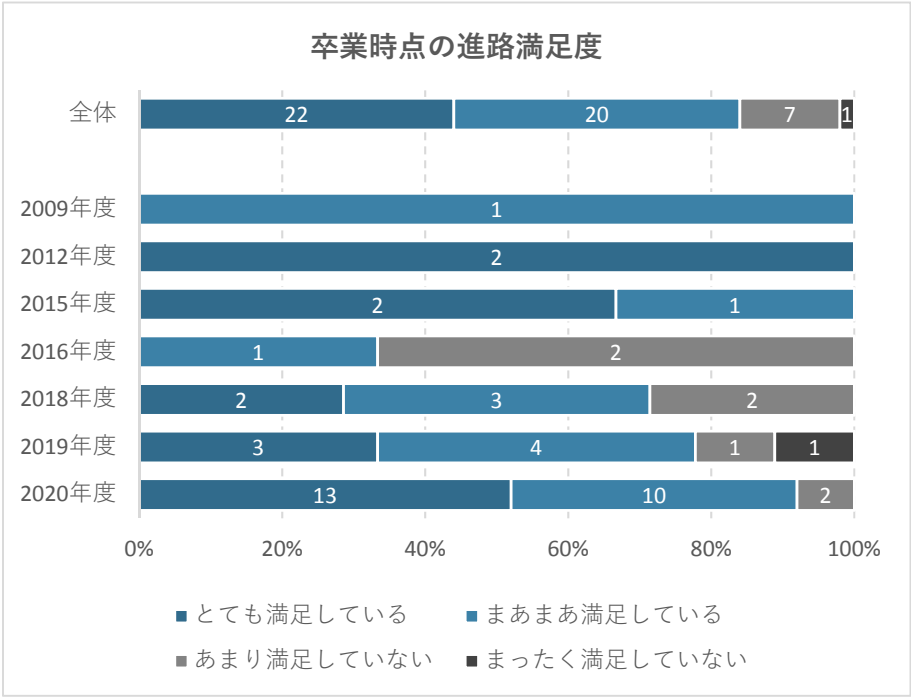


問 03. 出身都道府県と、問 04. 現在の居住都道府県

出身地と現在の居住都道府県が同一か否かも併せて表示.

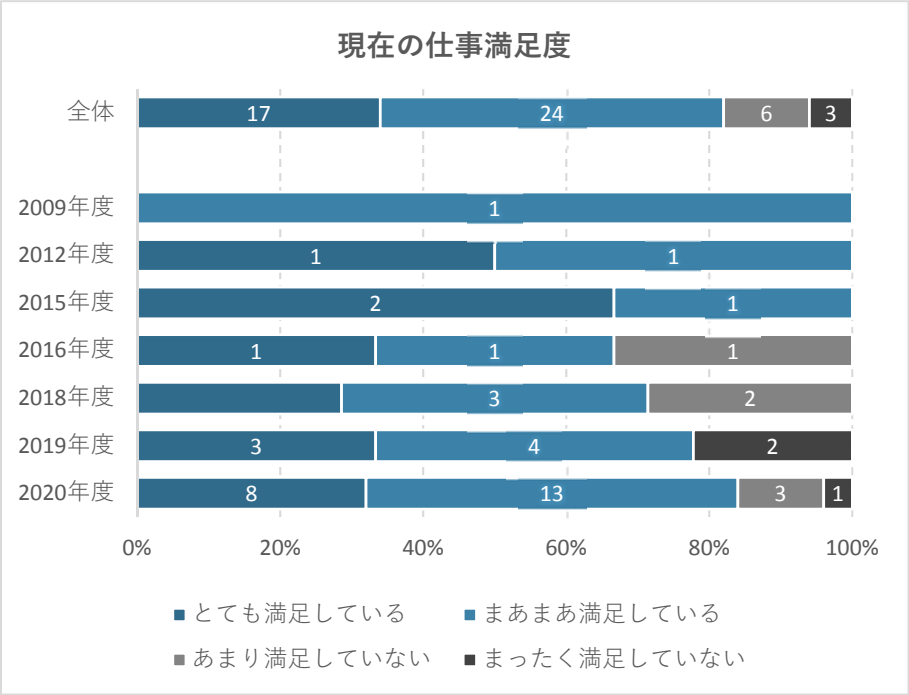


問 05. 卒業時点の進路満足度



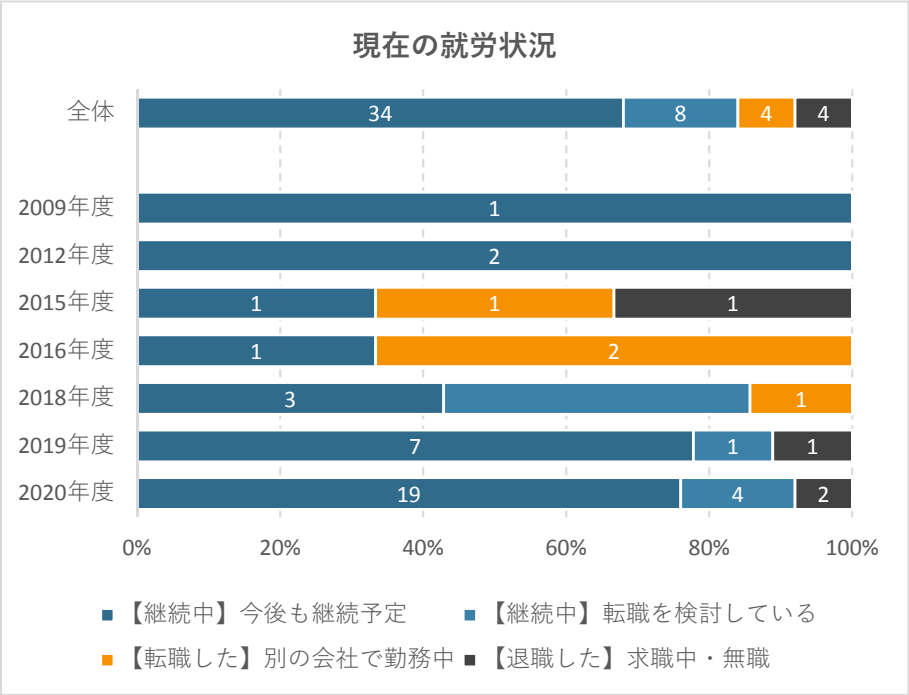
[参考] 昨年度の割合: 「とても満足している」 34.2%, 「まあまあ満足している」 52.6%, 合計: 86.8%.

問 06. 現在の仕事の満足度



〔参考〕 昨年度の割合：「とても満足している」28.9%，「まあまあ満足している」52.6%，合計：81.6%.

問 07. 現在の就労状況



〔参考〕 昨年度の割合：「【転職した】…」7.9%，「【退職した】…」2.6%，合計：10.5%.

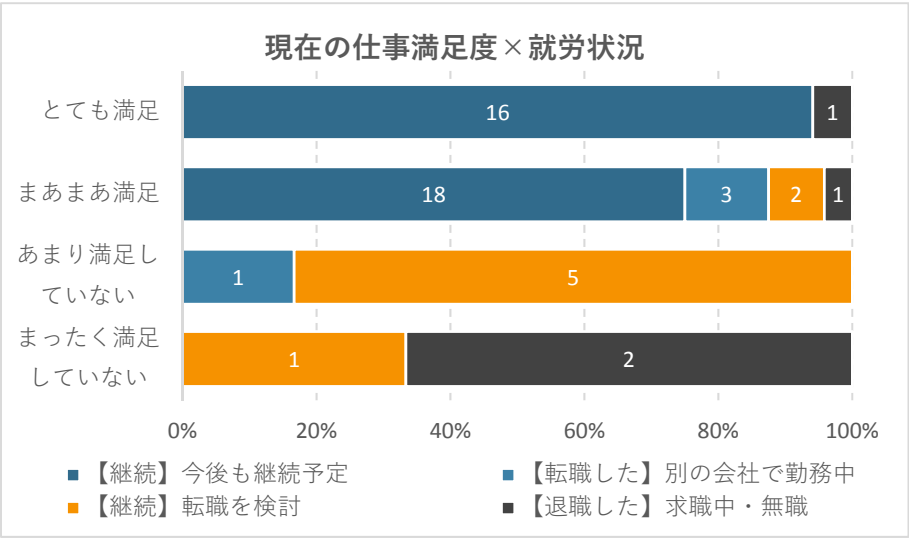
問 08. 転職・退職した主な理由

「人間関係」5 名，「給与・報酬」1 名，「その他」2 名.

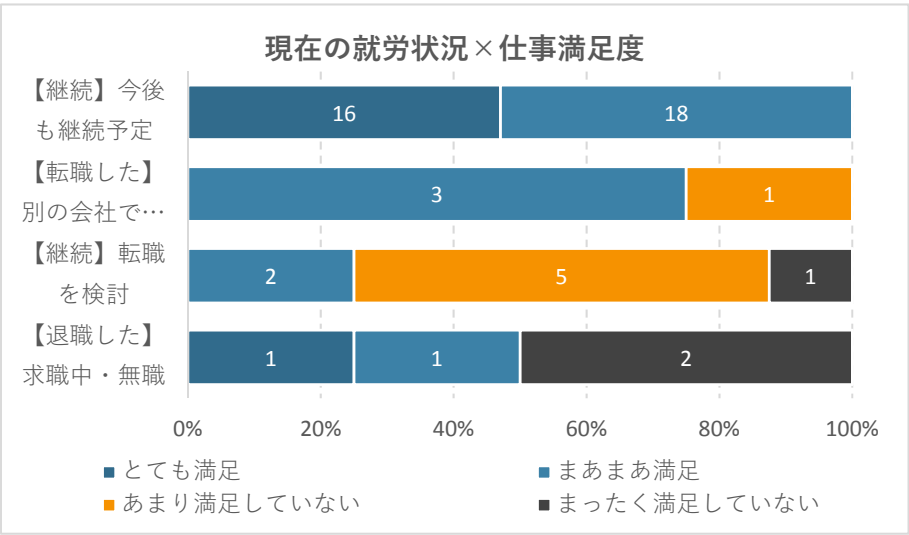
〔参考〕 昨年度の割合：「人間関係」2 名，「仕事内容」1 名.

問 06. 現在の仕事の満足度 と 問 07. 現在の就労状況の結合

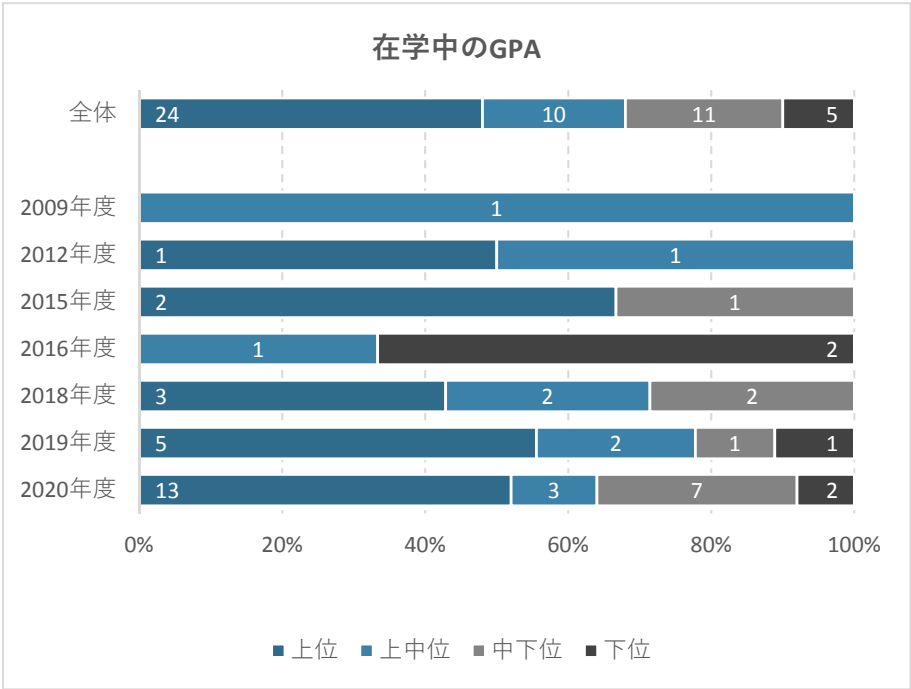
現状に満足していない層は転職を検討中、または退職している割合が高く当然の結果。



現在の企業等で継続して働こうと思っている層、および転職済み層は満足度が概ね高い。
また、転職を検討している層は満足度が低めの層が多いというごく当然の結果。
転職済みの4名の内、3名の満足度が「まあまあ満足」であるということは、転職が成功した可能性が高く、良い決断をしたと考えられる。
また、今年度は「まあまあ満足」している層にも「転職を検討」している回答があり、人手不足や転職の一般化など社会情勢の変化による影響も考えられる。



問 09. 在学中の GPA



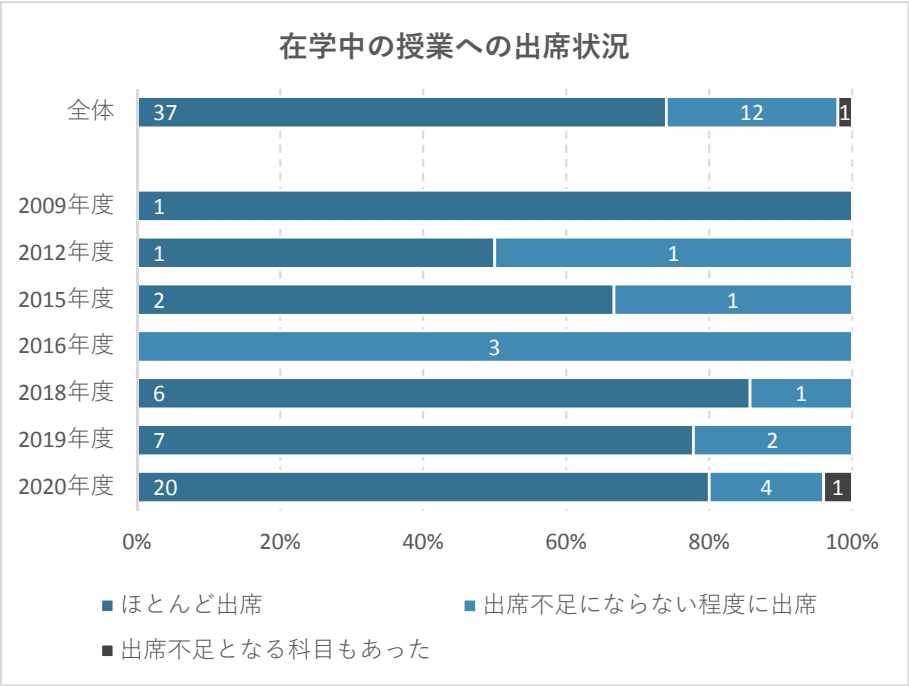
回答者の GPA の分布割合と、卒業生 724 名全体の分布割合は以下の通り。

	上位	上中位	中下位	下位	全体
卒業生全体	141	134	235	214	724
回答者	23	8	11	5	47
47 名に対する期待値	9.15	8.70	15.26	13.89	47

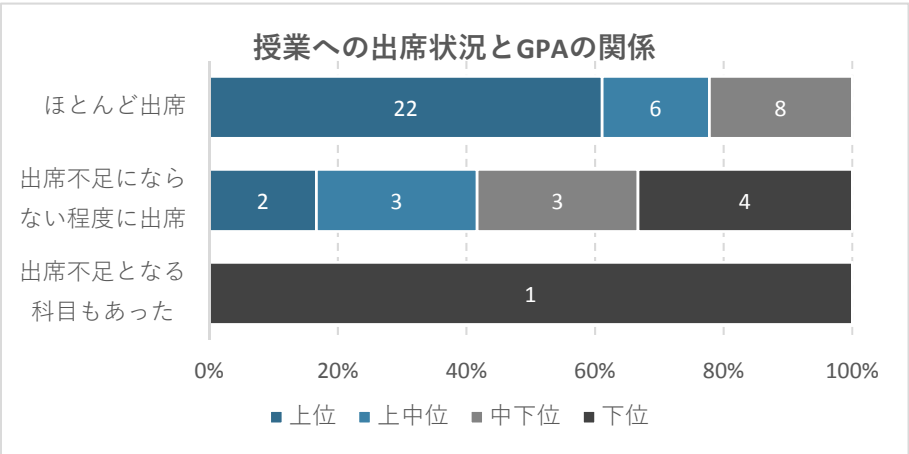
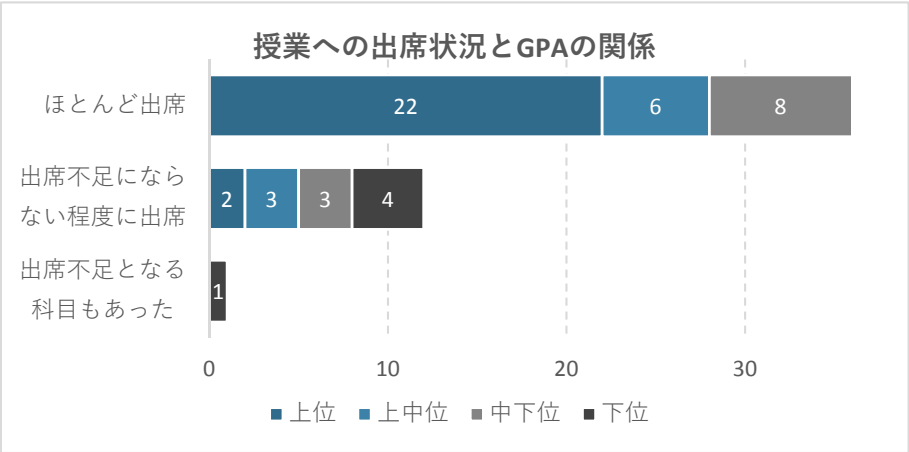
[注] 2009 年，2012 年度に入学した卒業生は，GPA を集計する対象に含まれていないため除外して計算している。

適合度検定：統計量 27.88，有意水準 5% 棄却限界値 $\chi^2_{0.05}(3) = 7.815$ ：
すなわち，回答者の GPA の分布は，卒業生全体の分布と有意に異なっていると言える。
統計量は，上側 0.00038%程度に相当することから，アンケート結果が母集団となる全体を表す回答ではなく，他の設問も含めて偏りのある回答となっている可能性が高い。

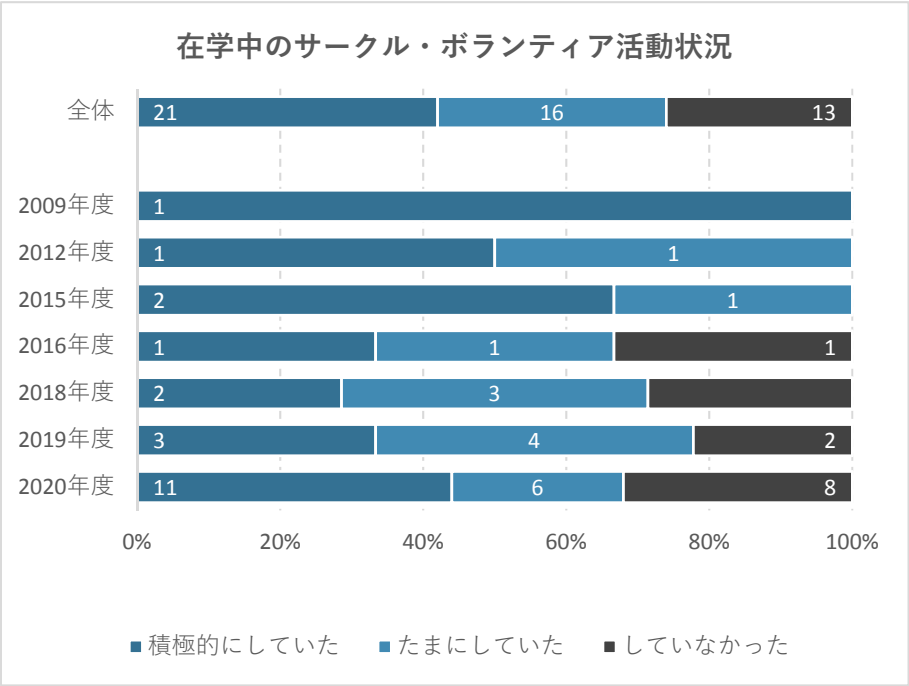
問 10. 在学中の授業への出席状況



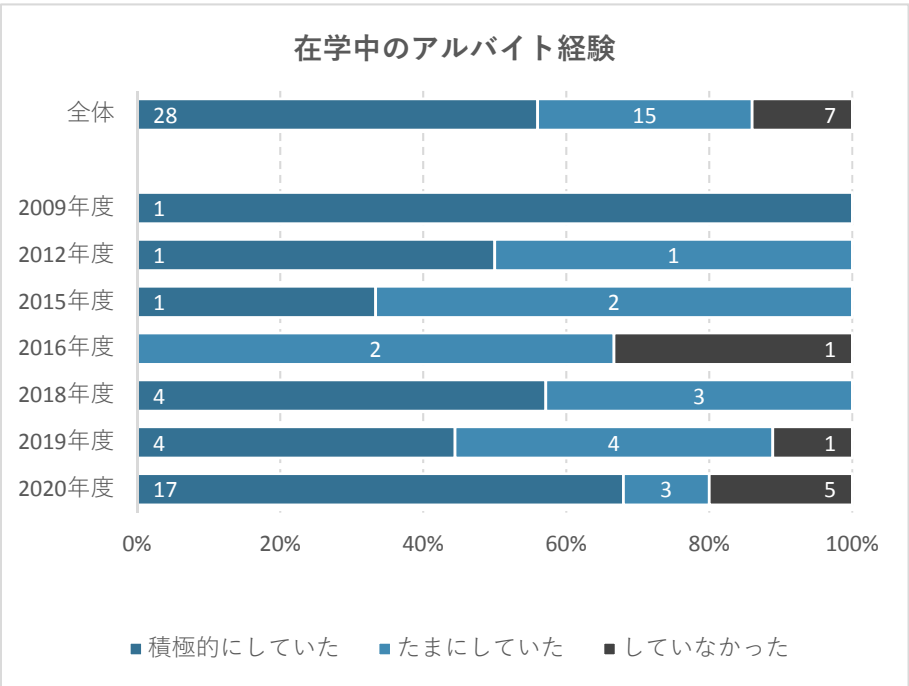
問 10. 在学中の授業への出席状況 と 問 09. 在学中の GPA の結合



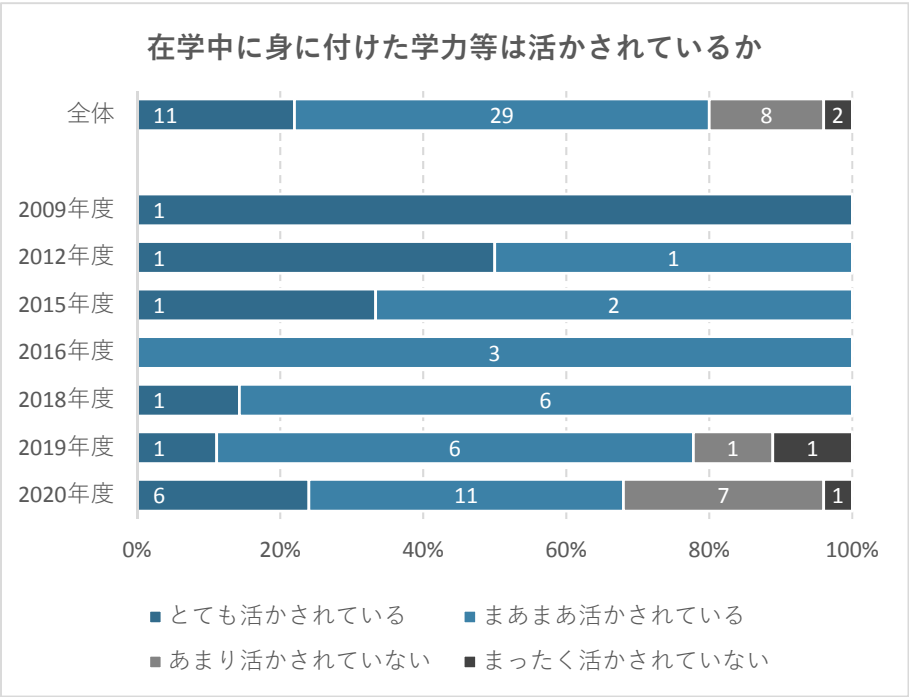
問 11. 在学中の部活・サークル，ボランティア活動状況



問 12. 在学中のアルバイト経験

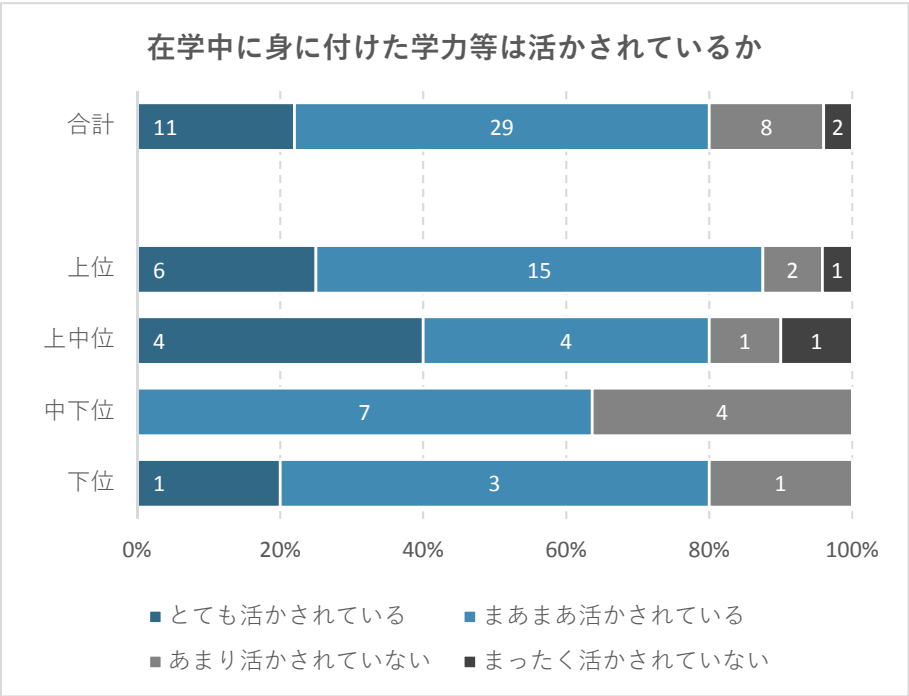


問 13. 在学中に身に付けた学力や資質・能力は卒業後の進路で活かされているか

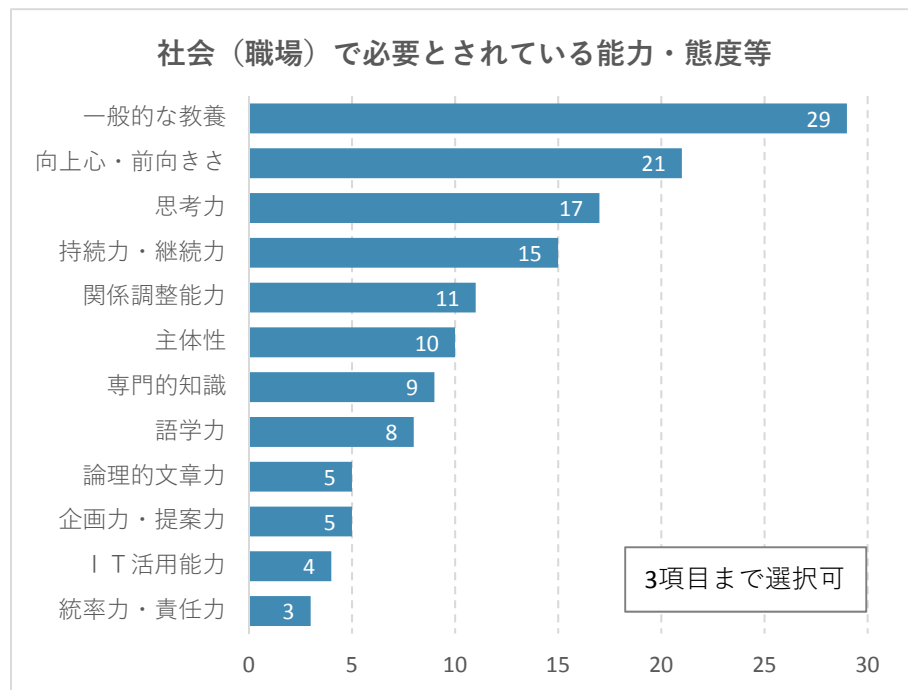


[参考]「あまり活かされていない」、「まったく活かされていない」については、卒業後（就職後）2年以内の回答者の内 29.4%が選択しているが、昨年度も 24.0%が選択しており、3年目以降の回答者は 9.1%であった。

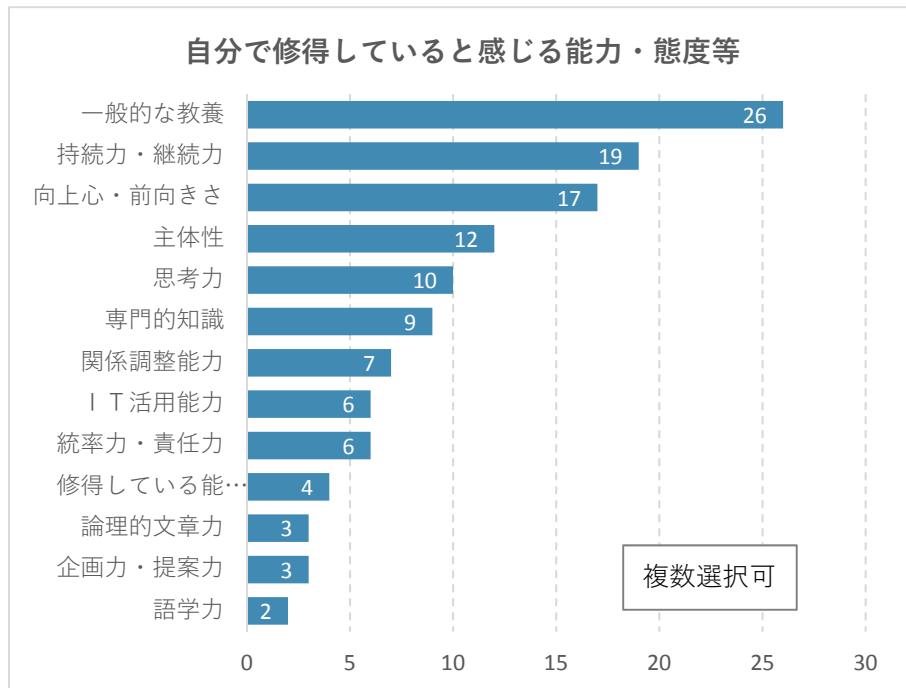
問 13. 在学中に身に付けた学力等が進路で活かされているか と 問 09. 在学中の GPA の結合



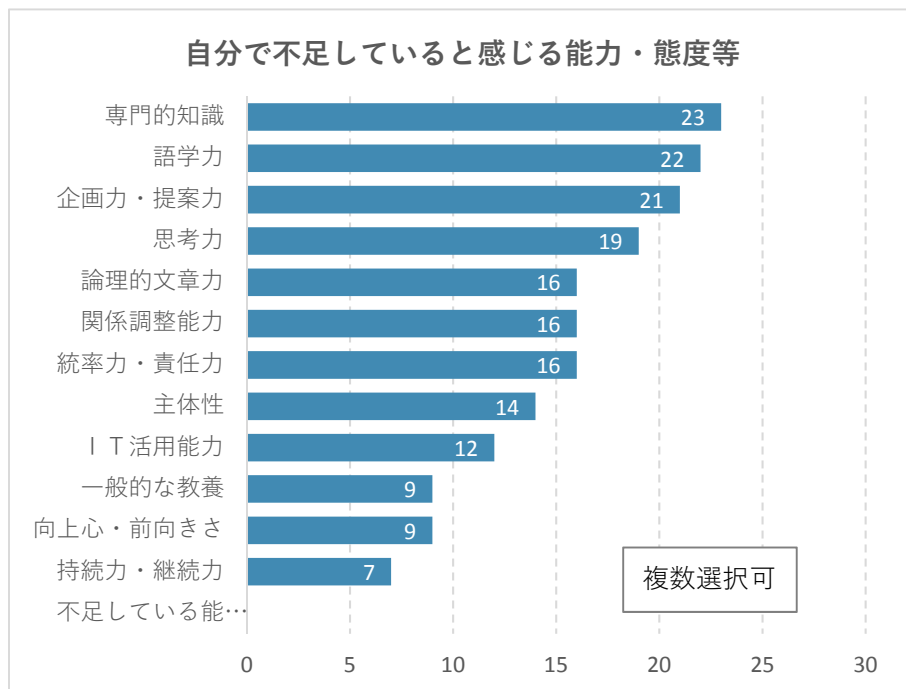
問 14. 社会（職場）で必要とされている能力・態度等（回答数の多い順に並び替え）



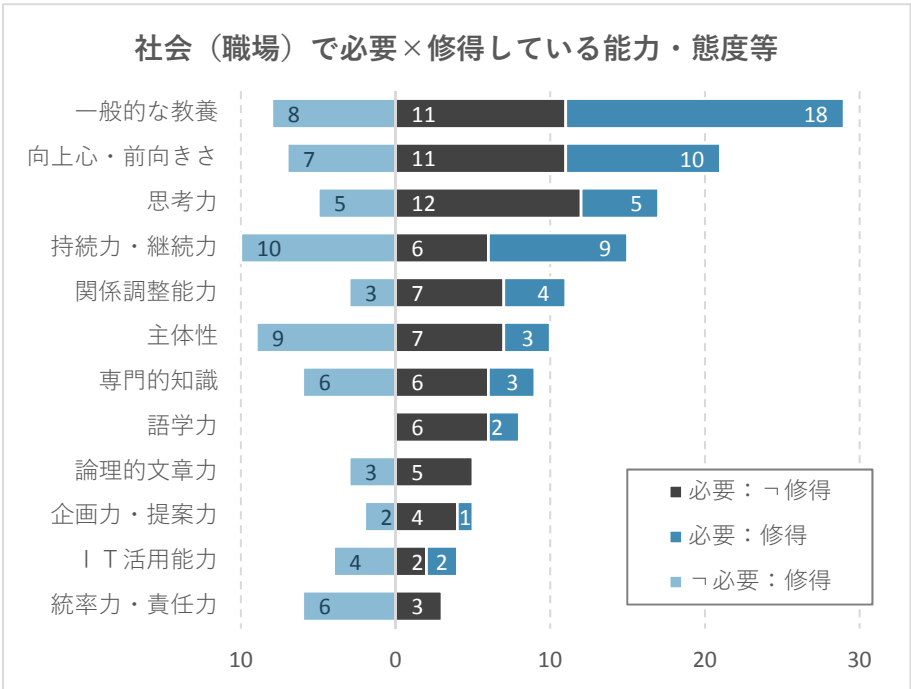
問 15. 自分で修得していると感じる能力・態度等（回答数の多い順に並び替え）



問 16. 自分が不足していると感じる能力・態度等（回答数の多い順に並び替え）

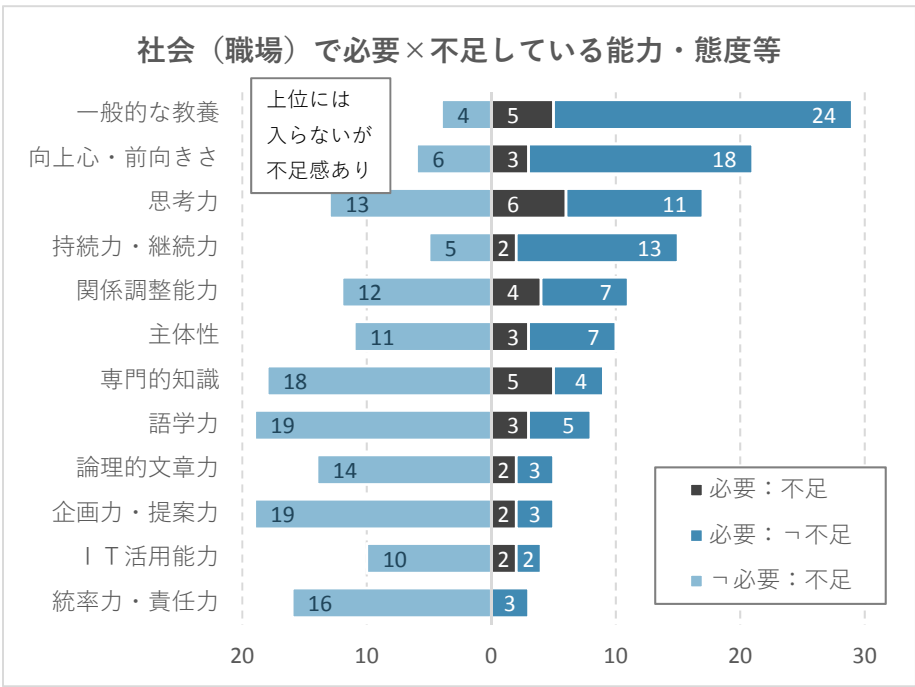


問 14. 社会（職場）で必要とされている能力・態度等 と問 15. 自分で修得していると感じる能力・
態度等の結合



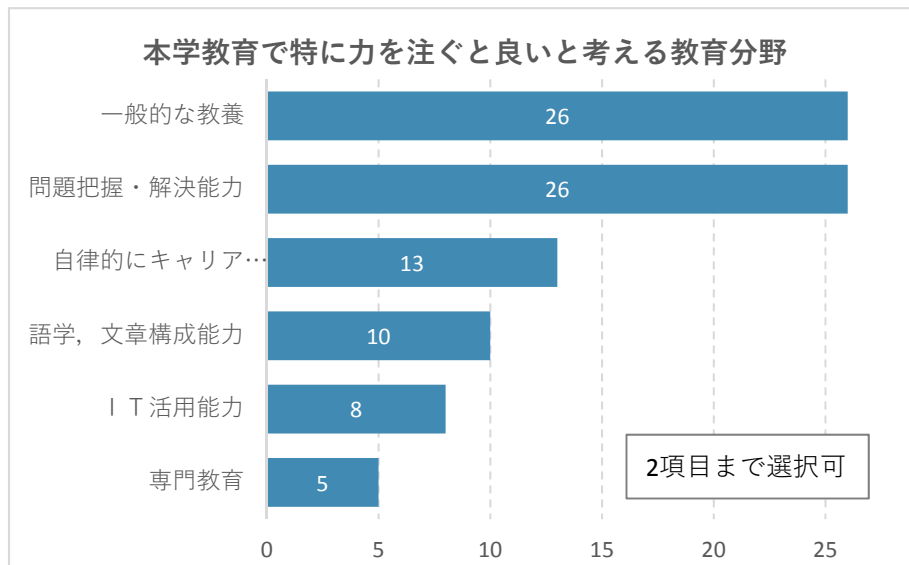
[注] 凡例の「必要：修得」は、「修得している」と答えなかった回答者。（必要：修得）
他の項目 および 次のグラフも同様。

問 14. 社会（職場）で必要とされている能力・態度等 と問 16. 自分で不足していると感じる能力・
態度等の結合



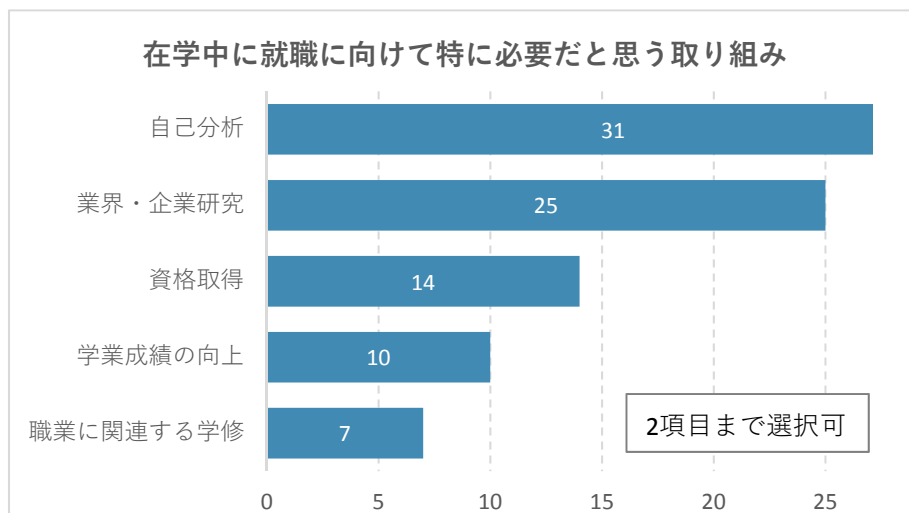
アンケート回答対象者は、社会人の中では比較的若手に属するため、現状ではまだ必要とされていない「専門的知識」、「企画力・提案力」、「統率力」などを将来必要となると考え、不足していると回答している可能性があると考えられる。（必要な能力は3つまでの選択制限あり。）

問 17. 本学教育で特に力を注ぐと良いと考える教育分野



その他, 自由記述として「大勢の前ですらすらと発言する力」があった。

問 18. 在学中に就職に向けて特に必要だと思う取り組み



その他, 自由記述として, 「人前で「感謝」と「謝罪」がちゃんと言える事」, 「人との接し方」があった。

問 19. 卒業後の進路を踏まえて, 本学の教育についての意見. (自由記述)

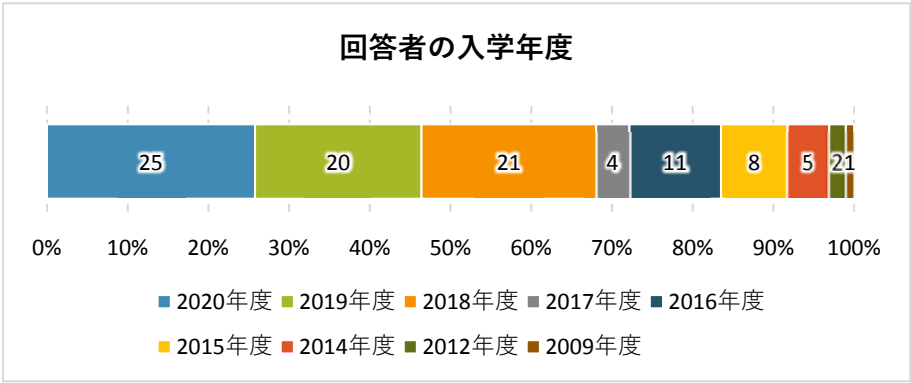
記載省略

【参考】

2022 年度から 2024 年度までの 3 年間、同様の卒業生アンケートを実施してきた。3 年間で延べ 133 名から回答を得た。重複して回答をした卒業生もいるため、実数では 97 名の回答者である。

「社会（職場）で必要とされている能力・態度等」は、社会人なりたての頃と、一定期間社会人を経験した頃とでは、考え方が変わっている可能性もあり、それらを分析するため複数年度のデータを活用する。複数回回答をした卒業生は、最新の回答を利用し集計をしたものが以下のデータである。

問 00. 回答者属性



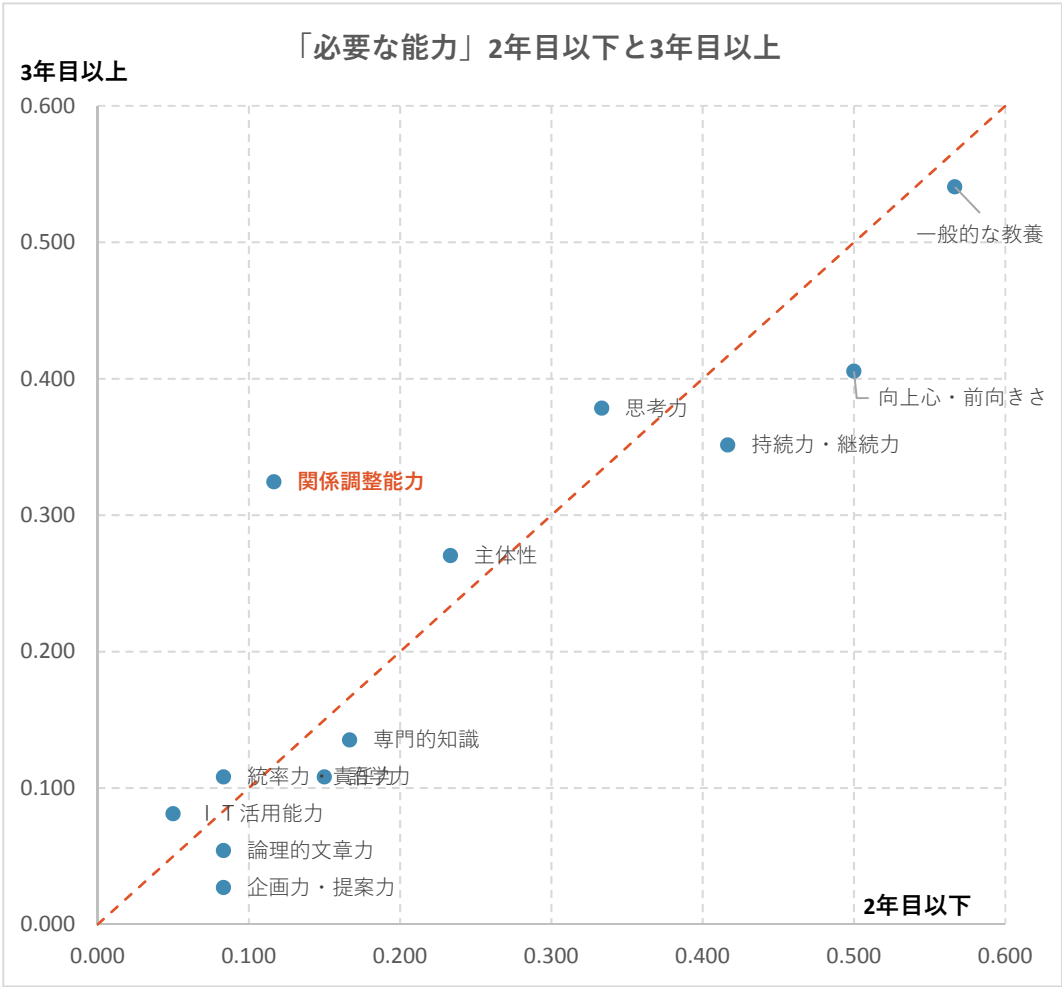
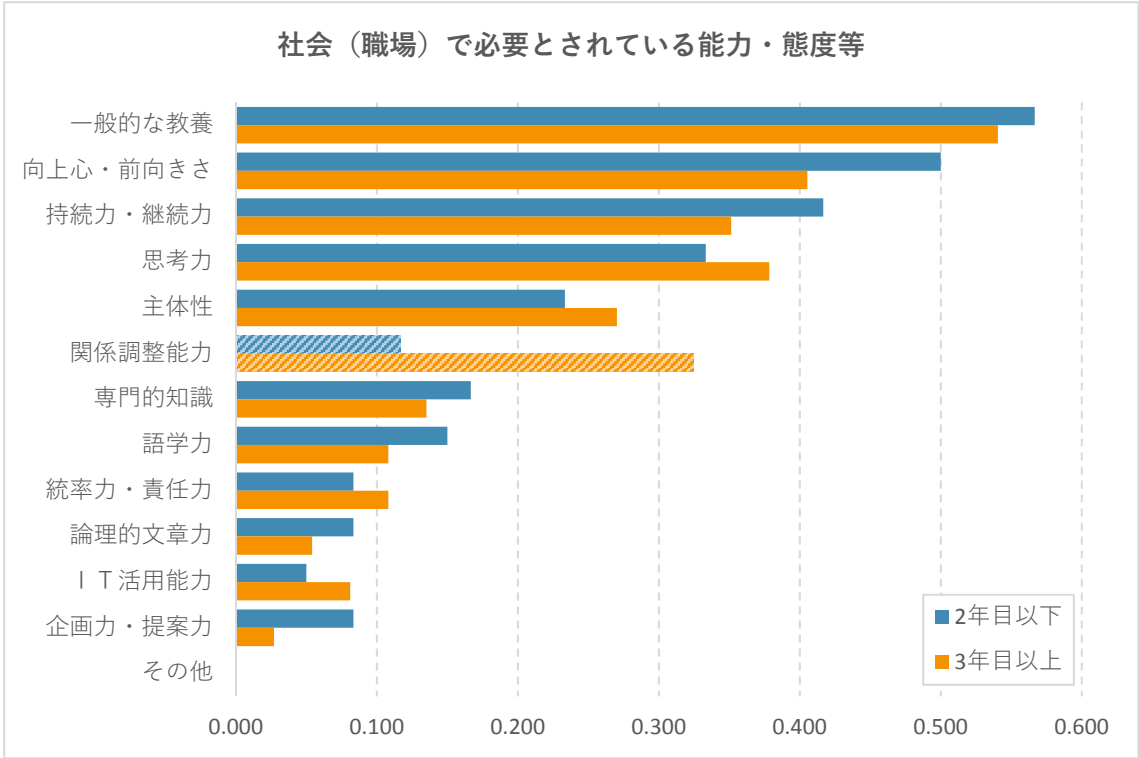
卒業年度はデータとして抑えていなかったため、入学年度を利用し 4 年間で大学を卒業したと考えて、社会人何年目に回答しているかを集計した表が以下である。

表. 卒業後の年数別の回答数

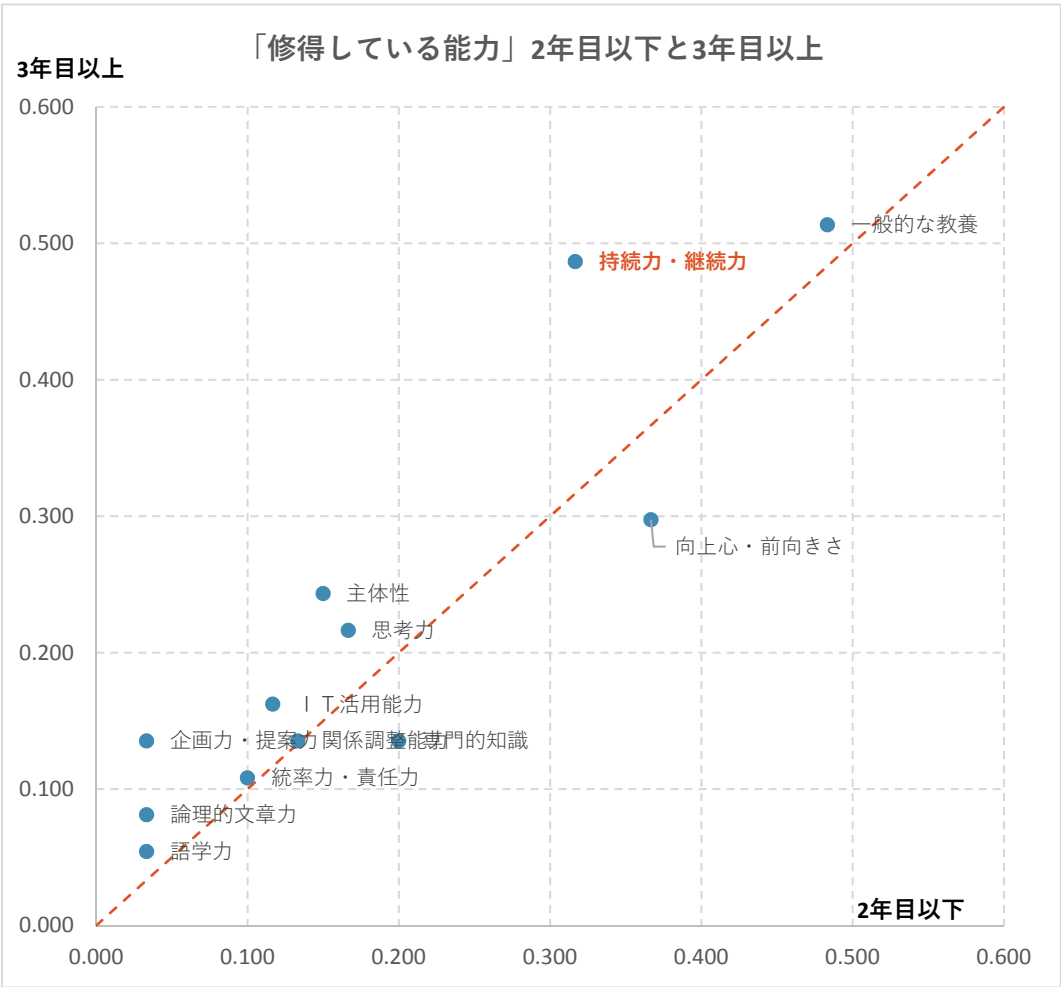
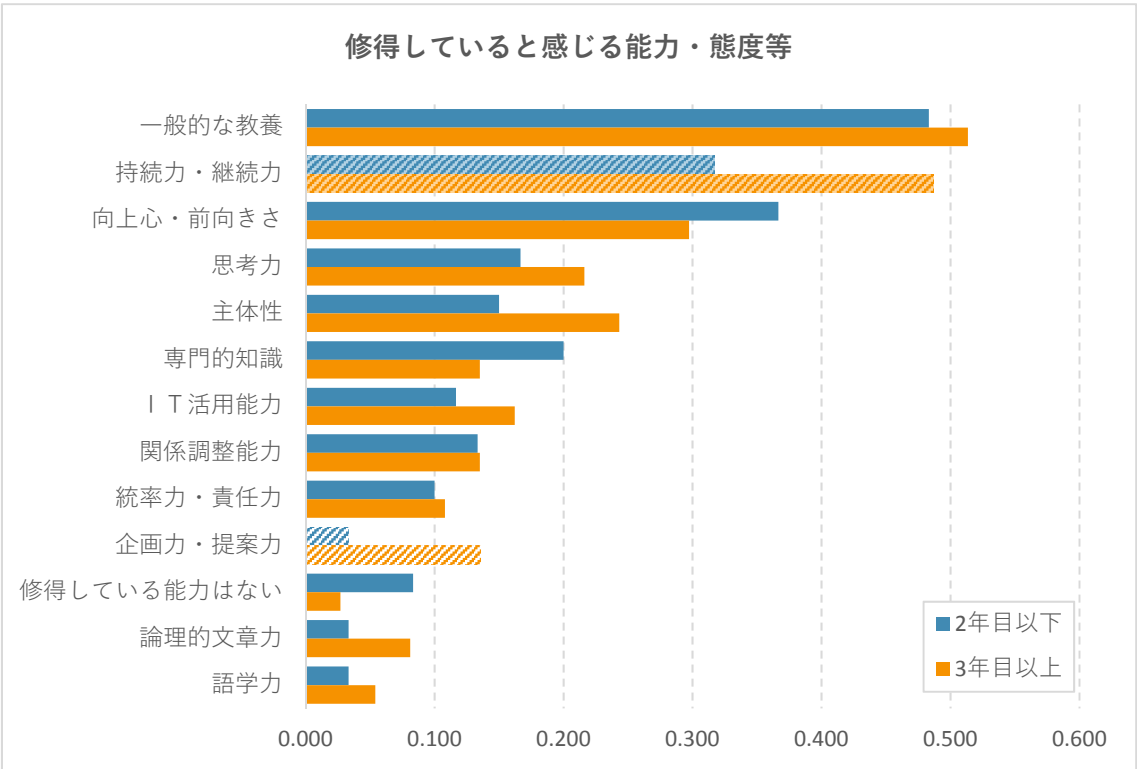
	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	9 年目	12 年目	合計
回答数	47	13	17	5	8	4	2	1	97

社会人 3 年目までと 4 年目以降で分析をする場合、回答数が 77 名と 20 名になってしまうため、今回は社会人 1・2 年目の回答 60 名と、3 年目以降の回答 37 名で各能力について分析をする。

問 14. 社会（職場）で必要とされている能力・態度等（回答数の多い順に並び替え）



問 15. 自分で修得していると感じる能力・態度等（回答数の多い順に並び替え）



問 16. 自分が不足していると感じる能力・態度等（回答数の多い順に並び替え）

